

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2009-90098(P2009-90098A)

【公開日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-228470(P2008-228470)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/31 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/31

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日(2011.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1端部を有する本体と、

前記本体の前記第1端部から外側に延在し、外側および内側部分を有する末端部を有する突出部と、

カニューレを収容するように構成され、前記本体の内部へと延在する、前記突出部の末端部内の開口と、

前記開口に向かって内側に傾斜し、これにより前記カニューレを固定するための前記開口への接着剤の移動を促進する前記末端部の前記内側部分と、

増大した表面領域を有し、これにより注入時の患者の皮膚にかかる圧力を低下させる前記外側部分の末端部と、

を備えることを特徴とする注入装置用ハブアセンブリ。

【請求項2】

接着剤と前記本体の間の接触面領域を増大させるために、前記突出部の前記内側部分内に複数のリブが配置されることを特徴とする請求項1に記載の注入装置用ハブアセンブリ。

【請求項3】

接着剤を容易に受け取るために、前記開口内に複数のリング部が形成されることを特徴とする請求項1に記載の注入装置用ハブアセンブリ。

【請求項4】

周辺に配置された複数の部材によって、前記突出部の前記外側部分が形成されることを特徴とする請求項1に記載の注入装置用ハブアセンブリ。

【請求項5】

前記突出部の前記末端部の前記内側部分内に凹状リング部が形成されることを特徴とする請求項1に記載の注入装置用ハブアセンブリ。

【請求項6】

第1端部を有する本体と、

前記本体の前記第1端部から外側に延在し、末端部を有する突出部と、

カニューレを受けるように構成され、前記本体の内部へと延在する、前記突出部の末端部内の開口と、

前記突出部から離間し、前記突出部の周辺を囲繞する突起であって、該突起の末端部は、増大された表面領域を有し、これにより注入時の患者の皮膚にかかる圧力を低下させる突起と、

を備えることを特徴とする注入装置用ハプアセンブリ。

【請求項 7】

前記突起は、周辺に配置された複数の部材によって形成されることを特徴とする請求項 6 に記載の注入装置用ハプアセンブリ。

【請求項 8】

カニューレを前記ハプアセンブリに固定するための接着剤を容易に受けるために、前記突起と前記突出部の間に溜めが形成されることを特徴とする請求項 6 に記載の注入装置用ハプアセンブリ。

【請求項 9】

複数のリブが、前記突出部の外面に沿って軸方向に延在することを特徴とする請求項 6 に記載の注入装置用ハプアセンブリ。

【請求項 10】

前記突起内に凹状リング部が形成されることを特徴とする請求項 6 に記載の注入装置用ハプアセンブリ。